

## 令和 7 年度(2025 年度)「中学校給食に関するアンケート」調査結果(概要版)

### 【実施目的】

中学校給食について、今後の事業展開や献立作成の参考とするため、生徒・保護者・教職員の意見をアンケートにより調査するもの。

### 【対象者】

豊中市立中・義務教育学校(後期課程)に在籍する生徒、保護者、教職員

### 【調査時期】

令和 7 年(2025 年)9・10 月

### 【調査方法】

オンラインによるアンケートを実施

保護者には、コドモンで周知及び依頼。

### 【対象者数と回答率】

	生徒	保護者	教職員
対象者数	9,922 人	※4,929 人	731 人
回答者数	7,084 人	3,611 人	329 人
回答率	71.4%	73.3%	45.0%

※保護者対象者数は、コドモンで案内を送付し、既読になった人数を記載

### 【概要】

#### ○満足度

		生徒	保護者	教職員
給食が好き(生徒自身)	R5	29%	34%	17%
	R6	34%	37%	23%
	R7	43%	37%	28%

毎年全ての対象において、満足度が向上しており、給食に対して好意的な印象を持つ人が増えてきていることがわかる。特に生徒の満足度は大きく向上している。

○苦手・残している理由

		生徒	保護者	教職員
冷めている(冷たい)	R5	17.5%	22%	21%
	R6	18.9%	24.5%	19.4%
	R7	13.1%	21.6%	22.5%
味付けが好みではない	R5	19.5%	30.5%	20%
	R6	20.3%	29.9%	24.9%
	R7	14.0%	20.2%	19%
苦手なものが入っている	R5	19%	16%	20.5%
	R6	18.1%	15.7%	21.6%
	R7	13.6%	12.4%	15.9%

※数値は、苦手・残している理由の平均値を記載。

回答上位の「冷めている(冷たい)」「味付けが好みではない」「苦手なものが入っている」の3つはこれまでと同様であったが、生徒では3項目とも昨年度より低くなっている。

また、「味付けが好みではない」「苦手なものが入っている」については、全ての対象において低くなっており、献立や味付けの改善の効果が少しずつ出ていると考えられる。

○量について

		生徒	保護者
多い	R5	37.3%	17%
	R6	31.1%	15.6%
	R7	27.2%	-
ちょうどいい	R5	48.7%	57.5%
	R6	49.8%	58.9%
	R7	52.3%	-
少ない	R5	14%	25.5%
	R6	19.1%	25.6%
	R7	20.5%	-

※R7年度は、保護者に量についての調査は行わず。数値は、ご飯、副食などの平均値を記載  
生徒の半数以上が、「ちょうどいい量である」と回答している。

昨年同様、「多い」という意見は減少しているが、生徒の「少ない」という意見が増加している。  
それぞれ一定数の回答があることから、量の調節について課題があることがわかる。

## 【まとめ】

給食への満足度は年々高くなってきている。苦手・残している理由については、上位の項目が例年通りとなっており、引き続き献立の改善や食育推進の必要性が感じられる。

しかし苦手な理由や残している理由については、生徒と、教職員および保護者に乖離がある項目がいくつか見受けられたため、現状に合わせて求められる対応を行いながら、乖離を埋める情報提供もあわせて行っていく必要があると考えられる。

量について、「ちょうどいい」と回答している生徒は増えているものの、「多い」「少ない」それぞれの意見が一定数ある。この課題に対しては、令和 9 年度 3 学期より、全てのおかずを食缶で提供する方向で進めており、その実現により改善できると考えられる。

今後も、引き続きアンケートの結果を参考に、献立の改善や食育を進め、より給食の満足度を高めていけるよう取り組んでいく必要がある。